

平成 28 年 11 月吉日

『ケアカフェ』が地域のつながりの場に
～地域に永生ファンを根付かせるには～

医療法人社団永生会地域連携室

湯浅 直樹

【目的】

地域の方々から支持される『ファン』づくりをして、口コミで評判が広がることで、永生会の全ての機能が生きてくるのが目的である。

【方法】

ファンづくりは、永生のスタッフが顔の見える連携を地域で構築することで形成される。『ケアカフェ』スタイルを活用して、誰もが抱えるケア疲れや悩みを共有し、気づきを受けて化学反応が起き、そして元気になれる場所を提供することにした。

【結果】

平成 27 年 1 月より開催して、平成 28 年 10 月まで毎月開催して計 21 回目となり、延べ人数 416 名で、平均 19.8 人の多職種の方が参加いただいた。

【考察】

永生会からの参加はごく僅かであったので、法人内連携を構築することになった。平成 27 年 11 月から『井戸ばた会議』、平成 28 年 4 月から『オネスティカフェ』を開設することになった。

【結論】

永生会が法人内外で連携構築するには、『ケアカフェ』スタイルでその地域に適した場所選定と人を集めることで、顔の見える関係になる。今後も拡散していきたい。